

Contents ●6月例会開催 ●第45期委員会を終えて

●タイムスリップ米子市 ●地元のイトコおっかけ隊 ●道なき道を ●考読 ●myグッジョブ!!

◆鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 山口尚文 ◆編集責任者/担当 副会長 西田裕志 ◆制作・編集 第45期広報委員会/委員長 渡邊公平

6月例会開催



令和2年6月15日、米子市観光センターにて6月例会が開催された。冒頭の山口会長の挨拶は、コロナの影響で会員が苦勞している中、18名の卒会予定者とともに最後の例会の開催ができ大変嬉しいとの言葉から始まった。例会中止やお地蔵さまフェスティバルの縮小開催など、悔しく申し訳ない気持ちの中、各委員会の協力のおかげで高塚会長

にバトンを繋げる例会が開催できることへの御礼の言葉を述べられた。続いて新入会員の川口会員、水野会員、2名へ山口会長よりバッジ授与が行われた。

最初の委員会報告は総務委員会の住委員長。活動テーマを「真心」として他人のために全力を尽くすことをテーマとしながらも、残念ながらOB交流会、新入会員レクリエーションは中止となったが、新年例会が盛大に開催された事を会員のおかげと御礼を述べられた。

広報委員会の渡邊委員長は委員会テーマを「ブルーム(輝き、開花、盛り)」とし、担当例会で米子東高校の紙本氏に「原田メソッド」について講義いただき、好評を得たほか、勉強会を4回開催し、伝える力を身に着けることに注力した旨の報告がなされた。



石田委員長の継続準備委員会の報告では、第5回お地蔵さまフェスティバルで清掃のほかにお地蔵さまの名前を刻んだ石碑寄贈を行ったこと、事業目標であるフェスティバル継続のためには担当委員会の負担を会全体で分担する必要性が述べられた。

政治経営委員会、松田委員長は、企業の未来を見据えた活動を目指し、10月例会にて山脇氏を講師に事業計画の立案とPDCAサイクルの実施について講演を実施、4月例会ではファンクショナルアプローチをテーマに初の映像配信の例会の開催をした報告がなされた。

地域ビジョン委員会の小谷委員長からは「価値観を重ねて、創造する」をテーマに、9月例会では地図から町を読み解く方法について、2月例会では地域の魅力をビジネスチャンスに活かす方法について考える場にしたこと、また、「『ほうきの国』魅力共感プロジェクト」を4回実施し、地域の魅力を考える機会としたと報告された。

続いて、高塚次年度会長より第46期方針説明が行われた。スローガンは「協歩」、テーマは「冷静と情熱」。「協歩」は当会の綱領「英知、友愛、団結」にかけて会員が協力し前に進むという思いを込めている。また「歩む」という字は「少し止まる」と読めることから、多少止まってでも冷静に考え、一度決めた事は本気で取り組む、そんな1年にしたいと説明がされ、各委員会の説明と新役員の紹介が行われて閉会となった。

(記事：白井)



6月例会を終えて

広報委員会 渡邊公平委員長 (有渡辺商店 主任)



第45期最後の全体での事業である6月例会を6月15日に米子市観光センターにて開催いたしました。新型コロナウイルス感染対策のため検温、消毒、換気、ソーシャルディスタンスの確保を徹底し、直近で鳥取県西部地区から感染者も出ていないため、通常開催する事が出来ました。

第45期委員会報告を5名の委員長にこの1年の活動の集大成としてそれぞれの思いを込めて発表して頂きました。続いて高塚次年度会長に第46期の年度方針発表として第46期のスローガンとテーマ、委員会と正副委員長の発表をしていただきました。

第45期を締めくくり第46期にバトンを繋ぐ大切な例会でありそして卒会予定者18名の現役最後の例会でもありました。新型コロナウイルスの影響で例会を通常開催出来るか情勢次第でどうなるか分かりませんでした。結果として通常開催する事ができ、75名という非常に多くの会員に出席していただきました。第45期を締めくくる6月例会の貴重な時間を多くの会員と共有できたことが何よりも有意義だったと思います。6月例会を無事に終える事ができたのも会員皆さまの支えがあったからこそだと思います。本当にありがとうございました。

# タイムスリップ。米子市 番外編

私達がビジネス・観光の窓口として利用する米子空港。米子市内から向かう道添に、メロディーロードと呼ばれる道があるのは、皆様ご存知かと思いません。この道から米子空港ターミナルまでの住所は、境港市佐斐神町です。この町は、1970年から始まった米子空港滑走路付替えに伴い、1984年完了までに、町全体約450戸集団移転がおこなわれた町です。(同工事では、同じく米子市大篠津でも約200戸移転) 全面移転にあたっては、反対・賛成(条件付き)

の議論を醸し出し難儀なものとなりました。また、集団移転先の町名は、住民から募集した102点の町名候補から、サイノカミさんと呼ばれた氏神である「幸神社」があることにちなみ佐斐神町を忘れないため「幸神町」が選ばれ今日に至っています。

以前の米子空港滑走路は、1939年に造られ老朽化が著しく、新滑走路を造るのにあたり電波障害などの影響から現在の向きの滑走路となりました。1980年からは本格的な民間航空施設での運用が

開始されました。時代は、プロペラ機からジェット機への時代に移っていきその後、堅調な旅客者の増加に対応し2009年に大型機の離発着を可能にするための滑走路延長され現在の姿となっています。

山陰発の文化や情報発信の拠点として国内をはじめ海外にはばたく玄関口としての米子空港は、先人達の集団移転という協力があってからこそ、私たちはたくさんの恩恵を受けていることを忘れてはならないと思います。

《参考文献》

わたしたちのまち20世紀 中浜地域史編纂委員会

出典：国土交通省 国土地理院ウェブサイト

(記事：川原)



1975年5月



1984年5月



1996年11月



## 地元のイトコおっかけ隊

《マウンテンストリームきしもと》

地元の人でもあまり知られていない“溪流公園マウンテンストリームきしもと”をご紹介します。正確な住所は「鳥取県西伯郡伯耆町小林518-1」。大山のふもとあたり、アクワールかぜ(風彩)の森迎賓館の近くに所在します。大きな道路からの看板などは特になく、入口付近がかなり分かりづらいので初めての方は近くでウロウロされるかもしれません。ただ、それっぽい道も2~3箇所ぐらいの選択肢しかありませんので諦めずにトライしてみてください。

最近の夏場は特に暑い日が多いので、子供だけでなく大人だって冷たい水に浸かりたいものです。海だと砂や塩が体に付着して何かと後始末が大変ですが、河なので拭き取って乾くの待つだけでいいのがとても便利です。綺麗に整備された河は小さな子供でも安全に溪流遊びが楽しめます。また、魚や蟹など水生生物や水辺のトンボ



や蝶々など昆虫もそれなりに採れるので大人も童心に戻って楽しめます。安心してお気軽に遊べる河遊びはこの夏一押しです。(記事：松井)



## 通常総会・卒会式に向けて

総務委員会 住 真介委員長  
(住法律事務所 代表弁護士)



令和2年7月15日、第45期総務委員会担当の令和2年度通常総会・卒会式が開催されます。通常総会では、第45期の事業報告及び収支決算、第46期の事業計画及び収支予算書の決議が行われ、第45期の締めくくりと第46期の船出の場となります。私たち総務委員会最後の担当事業として、しっかりと運営したいと考えています。

また、卒会式につきましては、今年は18名もの非常に多くの卒会者がいらっしやいます。卒会者の皆様におかれましては、在籍中、中央会の活動に真摯に取り組み、多大なるご貢献をいただきました。卒会者の皆様に感謝の思いをしっかりとお伝える場を作るとともに、卒会者様の思い出に残るような暖かな雰囲気にも包まれた卒会式となるよう、真心をもって準備、運営したいと思っております。

現役会員の皆様におかれましては、新型コロナウイルスの影響も未だ少なからずある現状ですが、ご協力の程何卒よろしくお願い致します。

# 第45期委員長を終えて



## 総務委員会委員長 住 真介(住法律事務所・代表弁護士)

今期、総務委員会は、「真心」、他人のために全力を尽くすということをテーマに1年間活動して参りました。担当事業は、45周年祝賀会、新入会員オリエンテーション、1月新年例会でした。いずれの事業も、委員会メンバーには「真心」のテーマのもと、一生懸命活動していただきました。また、各事業、総務委員会以外の皆様にご協力いただき各事業が大変盛り上がりましたこと、感謝申し上げます。

委員長の期間、うれしかったことや、試練を迎え悩んだこと等、たくさんの経験をさせていただきました。その一つ一つが私の成長へとつながり、その機会を与えていただいたことに本当に感謝しております。

この語り尽くせぬ感謝の思いを表すため、さらに真心をもって中央会に貢献して恩返ししていきたいと思えます。皆様1年間ありがとうございました。



## 広報委員会委員長 渡邊 公平(有渡辺商店・主任)

このハンサム7月号が皆様のお手元に届くことで第45期広報委員長としての職務が完遂することとなります。長かったような短かったような、思い耽れば様々な思い出がよみがえります。

ハンサムなどの広報誌を通してOBの皆様、現役会員の皆様にも大変お世話になりました。山口会長に委員長に指名して頂き不安からのスタートでしたが様々な経験をさせていただき非常に貴重な1年間になりました。ありがとうございます。また1年間支えて頂いた西田副会長と下村副委員長をはじめとする広報委員会のメンバーには感謝しかありません。

1年間終えて思う事は山口会長が掲げたスローガンの「考動」をもとに全会員で団結して支え合い一つの方向に前進していくこの会の素晴らしさを実感する事が出来ました。そして委員長として自分一人の力では実現できなかったことを委員会メンバーと力を合わせて実現する事が出来たと思えます。委員長という重責のある役職は皆様の支えなくては務まりませんでした。本当に1年間ありがとうございました。



## 継続準備委員会委員長 石田 倫章(ウィルビィ㈱・課長)

まず何より、継続準備委員会で1年間力を尽くして頂いた皆様、そして第5回大山お地蔵さまフェスティバル実行委員会として参加頂いた全ての皆様に感謝申し上げます。

過去いくつも委員会に所属し、その最後はどの委員長も所属委員へ繰り返し感謝を伝えていらっしゃいました。自分はそれを見てきて「何もそこまで…」と思っていたものですが、実際に委員長を務めてみれば、ただただ感謝を申し上げる事しかできませんでした。

1年という期間を通して、委員長としてやった事は殆どありません。皆さまにちょっとした提案をするだけで、実際に形にするのは全て委員会のメンバーや会員の皆様でした。委員会の、そして大山お地蔵さまフェスティバルの主はやはり委員会メンバーであり、会員皆様だと改めて気付かされた1年でした。

今後もお地蔵さまプロジェクトは継続開催していきます。会員皆様に当事業への継続したご協力をお願いさせて頂き、継続準備委員会委員長の最後の仕事とさせて頂きます。皆様、今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。



## 政治経営委員会委員長 松田 順次(合同印刷㈱・社長室長)

1年間を終えて、上手い出来ない部分も多くあり大変でしたが、終わってみればあっという間だったなと思えます。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、3月以降は委員会や例会が今までのように開催することができませんでしたが、4月例会は新たな例会の形として今後につながるものになったと思うので、急遽の準備で大変でしたが良い経験をさせてもらったと思います。卒会者4名の方には様々な意見をいただきながら、卒会年度にもかかわらず委員会を支えていただき感謝しています。それに引けられるように会歴の浅い会員からも多くの意見をいただき、副委員長の支えもあり、なんとか1年間の委員会を終えることができました。この経験を今後の中央会活動に活かしていきたいと思えます。ありがとうございました。



## 地域ビジョン委員会委員長 小谷 泰樹(㈱シー・アンド・エヌネクスト 営業統括リーダー)

皆さん、こんばんは！『委員長を終えて』ということですが、一言で感想を云うなら「楽しかった！」です。事業や活動するのに創意工夫する楽しさ、いろんな価値観の人と意見を交わす楽しさ、そして、それらをメンバーみんなで作りに上げる楽しさ。もっとたくさんあります。もう少し個人的な事を云うと、3つの事業で自分の好きな人を呼べたのは役得ですね。空想地図作家の今和泉隆行氏(9月例会)や『日本史の謎は地形で解ける』の竹村村太郎氏(青経連事業)は著作のファンでしたし、遊び・体験予約サイト『アンビュー』(2月例会)も新しい旅行スタイルを提案するサービスとして興味がありました。こういうのを含めて、好きなようにやらせていただきました。それを支えて頂いた委員会の皆さんには感謝、感謝、感謝です。そして、思い返すと、山口会長から委員長のお話を頂いた際に「空気は読まなくてもいいから」と仰って頂いた事が、私の拠り所になっていたような気がします。6月例会の委員会報告を終えて、超ベテラン会員の竹谷さんから「今日の委員長発表は、まあ、いい部類に入る」と独特のお褒めの言葉もいただき、もう思い残すことはありません(ご結婚、おめでとございます)。皆さま、本当にありがとうございました！

会長連載

# 道なき道を

第45期 会長 山口尚文

「道なき道を」というタイトルでの連載を依頼され一年が経とうとしています。あっという間に過ぎていったように感じますが、振り返ると多くの思い出があります。45周年事業を盛大に開催しスタートし、全会員が其々の立場で模索し、力みながらも各事業をやり遂げた上期、そして新型コロナウイルスの影響により中止や縮小での開催が大半となった下期と全てが思い出となり、その対応について皆で悩み、議論した時間は中央会の財産となりました。今年度のテーマ「考動」に相応しい一年だったように感じています。自信を持って第46期高塚会長にバトンを渡したいと思えます。ありがとうございました。



## 考読 ～おすすめ書籍の紹介～

松井淳一(有渡部 取締役副社長)

### 『GHQ焚書図書開封』 西尾幹二(著)

焚書(ぶんしょ)とは書物を焼き捨てること。つまり、米英にとって都合の悪い歴史をGHQの指令で文部省が行った歴史改竄を明らかにした本。これを見れば、学生時代に社会の教科書で教わった日本の近代史が、実は滅茶苦茶であることがよく分かります。特に明治維新は日本の夜明けでもなんでもなく、単なるイギリスの内紛戦略であったことがよく分かります。



## myグッジョブ!!

河津 孝彦

(有サンイン興産 専務取締役)



当社はボウリング事業としてクイーンボウルを設立し、今年の9月で48周年を迎えます。

ボウリングは、ルールが単純で分かりやすく、あまり経験のない人や、お子様からご年配の方まで幅広く楽しむことができます。天候に左右されず空調の効いた屋内で取り組めるのも魅力の一つです。

その手軽さゆえに、『レクリエーション・ゲーム』として浸透しておりますが、実はボウリングは『スポーツ競技』として定義されており、様々な大会も開催されています。また、運動量も意外と多いことから、健康づくりの一環として来場される方も多数おられます。当社でも定期的にプロを招いて『健康ボウリング教室』を開催し、毎回好評いただいております。

単純ながらも奥深いボウリングの魅力を発信し、純粋にゲームを楽しむ方、ストレス発散、運動不足の解消として取り組む方、ボールの種類や投げ方を工夫することで高スコアを目指す方といった、お客様の様々な目的に合わせた対応を目指し、ボウリングの普及と多くの方に楽しんでいただけるように取り組んでまいります。



## myグッジョブ!!

景山 貴司

(株カミナリ 広告プランナー)



弊社は、2009年に創業した会社になります。総合広告代理店事業の他に、自社媒体事業、各種デザイン制作事業、ウェブコンテンツ制作事業、プロデュース・ブランディング事業を行っており、鳥取・島根を中心に、様々な分野の企業、店舗の広告・販促などのお手伝いをさせて頂いております。

私たちが広告・販促を考えるにあたって、いちばん大切にしていること。それは「サイズ&バランス」です。各企業それぞれにマーケットサイズやターゲットサイズがあり、当然PRしたいモノも違います。そこをしっかりと理解し、そのうえでしっかりと戦略をたて、サイズにあった展開をバランス良く組み立てていきます。弊社は、クライアントの想いに、120%のカチで応えていく。そして一緒に企業を、ブランドを育てていくことに全力を尽くす会社です。

社名のカミナリの由来は、空から地上で生活している人たちにメッセージを伝えていた「神鳴り」からきています。私たちが「広告」を通じて、ひとりでも多くの人たちに情報や想いを伝え、情報発信源として、シビれるくらいの衝撃的なものを提供したいと考えております。



### 7月新旧役員会報告

令和2年7月1日(水) ANA クラウンプラザホテル米子にて7月新旧役員会が開催されました。議題は以下の通りです。

- ・6月例会開催の件
- ・通常総会・卒会式開催の件
- ・その他

※なお、詳細については各委員長までご確認下さい。

### 編集後記

初めてハンサムの発行に携わり、いつの間にか1年が経ちます。イレギュラーなこともあり紙面割に苦慮しましたがそれもいい思い出です。

ハンサムを発行するにあたり携わっていただいた皆様、本当にありがとうございました!!

(広報委員会 下村)